

2024 年度 事業報告

2024 年 9 月 9 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人ディスレクシア協会名古屋

1. 事業の成果

2024 年度以下の事業を実施した。

(1)

発達性ディスレクシア当事者、その周辺の発達障害者への理解を深める社会教育の推進を目的とする講演会開催事業

【事業名】

2025 年 春期 特別教育支援員（学習支援員）養成講座

【事業の概略】

発達障害について多角的に学び、子どもの支援に役立てたいと思う者に対し各専門分野で学びを深めるための講座「特別支援員教育支援員（学習支援員）養成講座」全 7 日間の開催

【日程等詳細】

① 第 1 日目 支援員養成講座

開催日時 1 月 18 日（土）10：00～15：30

開催場所 名市大桜山キャンパス看護棟 3 階 302 号

講師 午前 ディスレクシア協会名古屋 午後 矢野博明

研修内容 午前 オリエンテーション

午後 「チーム学校としての支援員の役割」

参加者 43 名

② 第 2 日目 支援員養成講座

開催場所 1 月 25 日（土）10：00～15：30

開催場所 名市大桜山キャンパス（講義室 A）

講師 午前 坂井誠 午後 西出弓枝

研修内容 午前 「行動療法の基礎と実際」

午後 「発達障害の子どもの家庭や学校での姿と支援」

参加者 52 名

③ 第3日目 支援員養成講座

開催日時 2月2日(日) 10:00~15:30

開催場所 名市大桜山キャンパス 看護棟3階302号室

講師 午前 華山将 午後 相羽大輔

研修内容 午前「発達障がい難しさ・基本姿勢・ちょっぴりABA」
午後「読書バリアフリーとICT」

参加者 46名

④ 第4日目 支援員養成講座

開催場所 名古屋国際センター3階第2研修室

講師 午前 ディスレクシア協会名古屋 午後 岩城正光 ドーマン朋子

研修内容 午前「LD疑似体験」

午後「子どもの人権と発達障害」

「こどもとつながる」サンライズプログラムとは？

参加者 43名

⑤ 第5日目 支援員養成講座

開催日時 2月16日(日) 10:00-15:30

開催場所 名市大桜山キャンパス

講師 午前 水科順子 午後 竹島浩司

研修内容 午前「感覚統合の発達と作業療法」
午後「学校におけるABA」

参加者 47名

⑥ 第6日目 支援員養成講座

開催日時 2月24日(月・振) 10:00-15:30

開催場所 名古屋国際センター3階第3研修室

講師 午前 曾山和彦 午後 ディスレクシア協会名古屋

研修内容

午前「学校不適応問題は(不登校・いじめ等)、かかわりの力の乏しさ、弱さに起因する」

午後「教室の場面でのロールプレイ」

参加者 42名

⑦ 第7日目 支援員養成講座

開催日時 3月9日(日) 10:00-15:30

開催場所 ソレイユプラザなごや

講師 午前 早川星朗 午後 ディスレクシア協会名古屋

研修内容 午前「発達障害の多様な状態像と学校との関わり」

午後「修了式」

参加者 45名

(2) 発達性ディスレクシア当事者、その周辺の発達障害者の能力が発揮できる事を目的とする学習会開催事業

【事業名】

「尾原先生と ICT の使い方を学ぼう!」(全 4/5回)

(法人設立 2024年9月9日から 2025年3月31日の期間に開催分)

【事業の概略】

この事業は読み書きに困難や弱さがあるため学習にスムーズに取り組めない子どもたちが、ICT 機器を学習サポートツールとして活用し、楽しく学習することを目指す

講師 尾原健太

●開催日時 9月29日(日) 13:30-15:30

開催場所 ソレイユプラザなごや 12階研修室

参加者 44名

講師 尾原健太

●開催日時 10月27日(日) 13:30-15:30

開催場所 ソレイユプラザなごや 12階研修室

参加者 50名

講師 尾原健太

●開催日時 12月21日(土) 13:30-15:30

開催場所 ソレイユプラザなごや 12階研修室

参加者 47名

講師 尾原健太

●開催日時 2月15日(土) 13時半~15時半

開催場所 ソレイユプラザなごや 12階研修室

参加者 37名

【支援員交流会】

この事業は名古屋市内で活動する支援員同士の日々の支援活動のピアサポート事業である

開催日時 1月18日(土) 10:00 ~ 12:00

開催場所 鶴舞図書館 (スタッフ志水・伊奈・木全)

参加者 16名

開催日時 3月15日(土) 10:00-12:00

開催場所 鶴舞図書館

参加者 9名(会から6名)計15名

(3)発達性ディスレクシア当事者、その周辺の発達障害者の人権の擁護を目的とするコンプライアンス講習会開催事業

①

【事業名】

発達性ディスレクシアのお子さんと共に～お母様の子育て体験談～ 開催

【事業概略】

会員がそれぞれこれまでに学んだこと経験を振り返り、共有し、さらなる知識を学ぶ機会の提供

開催日時 12月7日(土) 10時から正午まで

開催場所 名古屋市市民活動推進センター

講師 鍋島 舞・森永 ゆみ

発表内容 「自閉スペクトラム症+ディスレクシアの息子と過ごす楽しい毎日」

「合理的配慮提供までの本人・学校関係者・保護者の体験談」

参加者 31名

②

【NPO 法人 LD 協会理事長宇野彰氏「つくばモデル」について講演会】

講演内容

2013 年以降、つくば市は発達性ディスレクシアに対応するため、文部科学省の委託研究を基に専門教員の養成や早期発見・対応の取り組みを進めてきた。モデル校での実践により成果を上げ、2020 年度から「読み書き対応つくばモデル」として展開している。2024 年からは長久手市が教員研修として導入、実情を紹介いただいた。

開催日時 10 月 1 日（火）17：00-20：00

開催場所 ソレイユプラザなごや 12 階研修室

講師 宇野彰氏（言語聴覚士。医学博士）

参加者 30 名

発達性ディスレクシアの子どもたちを正しく理解してもらい環境支援を構築するための出張講座をしてきました。ライトハウスの職員の方たちにお聞きいただきました。

開催日時 9 月 19 日（木）10：00-11：30

開催場所 名古屋ライトハウス情報文化センター

講師 吉田優英

参加者 30 名

③

【発達障がってどんな子？～疑似体験を通じて～】

全国で活躍する子ども支援現場の実状を共有し、連携を図るための有志の会エレパニが主催する月 1 回の ZOOM の学習会に講師として招聘。

発達性ディスレクシアに関する当団体の活動と疑似体験を通じ発達障害について参加者参加型のワークショップを入れ学びを深めた。

開催日時 11 月 9 日（土）19：00-21：00

開催場所 ZOOM での講演会

講師 吉田優英

参加者 40 名

(4) 発達性ディスレクシア当事者、その周辺の発達障害者の取り巻く包摂的なまちづくり
推進を目的として啓蒙・啓発講座開催事業

【読み書き相談会の実施】

この事業は読み書きが苦手なお子さんと保護者が対象で、図書館で開催する。

当団体の会員も加わり読み書きに苦手意識を抱える子ども・家族の悩み相談を行い、必要に応じて情報提供を行う。

開催日時 9月22日(日) 13:30-15:00

開催場所 緑図書館(担当:宮脇 安藤)

参加者 新規の保護者6名(内夫婦での参加1組)

開催日時 11月2日(土) 14:00-16:50

開催場所 緑図書館(担当:吉田 片岡)

参加者 8組参加

開催日時 11月21日(木) 17:30~18:45

開催場所 山田図書館(担当:志水 井上 吉田)

参加者 新規の親子6組

開催日時 11月30日(日) 10:00-12:00

開催場所 鶴舞図書館(担当:片岡 大和 吉田)

相談者 9名

開催日時 1月26日(日) 14:00~16:00

開催場所 志段味図書館

参加者 新規の親子組(担当:吉田優英 片岡 丹羽)

開催日時 2月1日(日) 14:00~17:00

開催場所 志段味図書館

参加者 新規の親子 9組 (担当 吉田 片岡 丹羽)

開催日時 3月8日(土) 13:00-15:00

開催場所 鶴舞図書館

参加者 新規の親子 6組 (担当 吉田 片岡 伊藤)

【「認知特性が分かる疑似体験」出張講座】

実際に学習障がいの困難さを体験し、その困難さを軽減する方法やツールを知る。

自分の脳のタイプを知り、自己有能感を持つことで、自身に適した学習方法や進路を考える一助とする。

開催日時 2025年1月26日(日) 10:00~12:00

開催場所 名古屋市緑区千鳥中学校体育館 (担当: 宮脇)

講師 宮脇佐恵子、青山真紀子、南素子、中垣啓子、井上由香子

内容 5つの認知特性を使った疑似体験全7種類を行い、できた子にはチョコの金メダル、全員に参加賞として飴かラムネを渡した。

途中出入りは自由で、1つ体験して移動しても、複数体験してもよい形で開催。

参加者 学区周辺の住民と関係者 300名 ブース参加人数 1回目 42名、2回目 22名

(6) 発達性ディスレクシア当事者、その周辺の発達障害者の地域社会の支援体制の創設を目的とするコンサルテーション実施事業

【読み書き検査の実施】

発達性ディスレクシア支援センターでは、他機関もしくは当事者家族からの依頼を受け、読み書き検査を実施している。検査・相談・検査報告書の作成を行い、合理的配慮申請のためのデータ作成を行っている。

2024年9月から2025年3月末日まで 30名の検査を行った。

(7) その他この法人の目標を達成するために必要な事業

【助成金事業】

大塚商会「大塚商会ハートフル基金」～地域住民が行う、地域の振興・課題解決事業～
タイトル「子どもの可能性は無限大～読み書き障がいを知って未来に羽ばたこう～」

内容：①親子の読み書き障がいの受容(正しい知識とかかわり方・合理的配慮に関する理解)
②ICT活用講座(実際体験して学びの場で活かすための講座)

朝日新聞厚生事業団『発達障がい』とともに生きる豊かな地域生活応援助成」

タイトル読み書き障がい(発達性ディスレクシア)の子どもと共に未来を創る

内容：読み書き相談会の開催、リーフレットの作成、広報啓発、ICT機器を学ぶ講座等
(採択された。実施期間は2025年4月1日から2026年3月31日まで)

【講師派遣事業】

2025年

1月13日(月) 10:00～12:00 自閉症協会&かたつむりペアレントメンター
講習会 講師 吉田優英 タイトル「発達性ディスレクシアとは？」

LD疑似体験講師 岩田 木全 下森 大和

開催場所 ソレイユなごや 参加者 当事者とその家族関係者等

1月19日(日) 13:30～15:30

知多市での講演会&疑似体験「ディスレクシアってどんな子？」

主催 イルカくらぶと支援サークルにじいろ

開催場所 知多市福祉活動センター

参加者(対象者) 学校関係者と子ども支援関係者

講師 吉田優英 日榮 中村

【啓蒙啓発事業】

発達性ディスレクシアの合理的配慮として「ユニバーサルデザインフォントが有効である」といった、間違った情報を愛知県高校入試課の見解を「中日新聞」が掲載した。その社会的影響の大きさを鑑み、子どもたちの障害特性を正しく理解をしてもらうために、愛知県教育委員会へ「意見書」をもって陳情に行った。中日新聞の記者を伴って行き、それを記事に掲載してもらい、正しい情報を広めることができた。

10月17日(木) 14:00 ~ 15:30

開催場所 愛知県庁自治センター4階、第一会議室にて

参加者(対象者) 愛知県教育委員会、特別支援教育課、高校入試課

当方参加者 井上由香子 瀬戸ゆみ 水野真由 宮脇佐恵子 吉田優英

【理事会の開催】

2025年2月18日(火) 20:00-22:00

2025年4月 3日(木) 19:00-21:00

2025年4月26日(土) 20:00-21:15

2025年5月29日(木) 20:00-21:30

全てZOOMを利用し開催。